

広報誌「絆」

第22号～第41号

連盟規約







絆  
な

発行  
八重山家庭婦人  
バレーボール連盟  
広報部  
— 第22号 —



会長 辻野 ヒロ子

師走に入り、何かと慌ただしくなったこの頃、今年は特に三月十一日に起きた未曾有の東日本大震災の影響で暗い年の瀬となりそうです。多くの犠牲者の皆様のご冥福と復興をお祈り致します。

八重山でも二四〇年前に恐るべく「明和の大津波」があり、九千名余りの尊い命が亡くなっており、他人事ではありません。私達も今回のことも踏まえ、お互いが日頃から災害に対する意識を高め万全に対策をしていくことが大事だと思います。

去る十一月十九日の九州ママさんバレー大会ではHappyチームが沖縄県代表として出場し、福岡県代表(和白東チーム)と健闘し、惜しくも二対一で敗れてしまいました。試合を観戦して、「レベルは同等だ、いや負けてはいない」と確信いたしました。今後の活動に大きく期待いたします。

会員の皆様には、年間事業に積極的に関わりご協力頂いていることに心から感謝申し上げます。

今後ともバレーボールを楽しみながら「健康づくり」「明るい家庭づくり」にご精進して参りましょう。

来る年も、皆さんにとつてすばらしい年になりますようにお祈りいたします。



新役員紹介



副会長  
東内原  
とも子



副会長  
東恩納  
さよ子



副理事長  
伊計  
照子



理事長  
古見  
栄子



会計  
比嘉  
清美

総務部長  
東若 明子



審判部長  
山根 清美



審判副部長  
福留 玲子



審判副部長  
松山 勝美



審判副部長  
仲間 多美子



競技部長  
宮城 和美



競技副部長  
竹内 千夏



競技副部長  
寺村 成子



審判副部長  
黒島 麻代





『平成二十三年度 沖縄県家庭婦人バレーボール連盟審判講習会』に参加して

Happy 船越 美奈子

去った五月八日に沖縄本島の西原町民体育館で行われた県の審判講習会に参加してきました。沖縄本島に住んでいた頃に何度か参加したことはありましたが、石垣へ来てからは初めてで久々の講習会でした。以前とは異なる離島からの参加など、飛行機に乗って前日から那覇入りするなど大がかりで、気づけなかったことも多かったです。当日も朝早くに目覚め、ホテルの大きな鏡を前にシグナルを出す練習をしたり、じっくり資料に目を通してから会場へと臨みました。

講習会には沖縄全土から約二百五十名の受講者が集まっていました。まず全体で「重点学習」として、サーブスオナー違反(反則)の修正手順、スコアシートの記入の仕方等を学習し、ゲームの連続き、プロトコルの仕方、ゲームの流れ等、今年度変更があった箇所を確認しました。

その後、モデルチームに試合形式でプレーしてもらい、その試合の審判実践学習を行いました。今回は十月に沖縄で行われる「ことぶき大会」の審判協力員の方達が実際に審判を務め、それを皆で見ながらその中でのポイントポイント原の審判の方が細かく丁寧に指導アドバイスして下さいました。

(以下要所のみまとめます。)

- ＜主審＞
- 吹笛の仕方……各場面に合わせて強弱、長短をつけ単調にならないように変化をつける。
  - シグナルの出し方……あわてず、ゆっくり行う。
  - ①吹笛→②線審を見る→③反則シグナル→④反則プレーヤーを指す→⑤ポイントシグナル

＜副審立ち位置＞

●サーバーのサイドラインクロスを確認する時  
副審はサイドラインぎりぎりにコートの中に向かって立ちサーバーをみる。

●ラリー中ボールがマーカー外(延長線上)から反対コート内に入る場合  
↓反対コートのマーカー下でコートの外に向

かって立ち、ボールのコースを確認する。  
(マーカー外、延長線上の時は吹笛)

＜線審＞フラッグを振る場面

●サーバーのラインクロス(エンド・サイドライン)  
↓左手でラインを指さしフラッグを左右に振る。

●ボールがマーカー外からコートの中に入った場合  
↓左手でマーカーを指さしフラッグを左右に振る。

モデルチームの試合に沿って線審の練習をしていく時に、とつてもきわどいプレーがあり、その時私達を指導して下さいました。審判部の方がそのジャッジについて、『今のは見せどころですよ』とおっしゃっていただいたのが印象深く残っています。

その時の、その一言を聞いて……審判というの、大きな責任感と緊張感の中にも自分が瞬時に判断したことを伝え、見える喜びのようなものがあった、これが審判の醍醐味なのかもしれないと考えさせられました。

また、審判実践の全般をみて、石垣での試合の時に比べ、特にホールディング、オババーネットの反則がかなり厳しめにとっているように感じられました。石垣でも県や全国のレベルに近づけていくものだと思います。厳格的にジャッジすることはプレーヤーのレベルアップにも繋がることだと思えます。(これは後日県大会に行った時にもつくづく感じさせられました。)

そのためにも審判員の強化、意識付けがもっと必要だと思えます。資質向上のためにも定期的に今回のような審判講習会をぜひ石垣でも行うことができたらと思います。

午後の部のはじめに、県の審判部の方々による審判のデモンストレーションがありました。吹笛の響き、無駄のない機敏な美しい動作、的確なジャッジ。すべてが威厳ある堂々とした態度で、試合そのものが引き締まり、審判の貴格が感じられました。

講習会おわりに島袋ゆみ子審判部長からのお言葉の中に『常に審判は、選手よ

り気持ちの上で勝っていないといけない』とありました。そのためには、審判としての勉強、経験をもっと積み重ねなければなりません。また、日々の練習でプレーヤーとしての自分自身の技術をあげる努力とバレーについての知識を深める努力、熱意が大事だと思います。

自信を持って審判台に立ち、ゲームの流れを見守り、両チームのみなさんが気持ちよく戦えるようサポートする、公正、正確、冷静に思いやりの気持ちを持って、しっかりとジャッジする、そういう審判を目指して、これから精進していきたいと思えます。

今回の講習会は私にとって沢山の学びと気づきの多い有意義なものでした。このような貴重な機会を頂き本当にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

全国ママさん

バレーボール大会に参加して

去る、五月十三日(土)十四日(日)に、沖縄市体育館にて全国ママさんバレーボール大会に参加しました。

これまでHappyは、一回戦負けで、自分達のバレーをさせてもらえないまま、終え悔しい思いを経験してきました。今回参加に向けて一般の方、ママさんバレーボールチームの皆様にもご協力をお願いし、練習試合などを数多く出来たことで、三回戦までに勝ち進めたと思えます。

大会では、特にオババーネットを取られこれまで自分たちのルールに対して、認識の甘さが勝ち進めなかった原因の一つでもありました。

あと、県大会に向けてのチーム作りの仕方、一点の重み、繋ぐバレーの大切さ、また、これからみんで練習の中で考え、チーム、個人を高めていきたいと思えます。

大会参加にあたり、連盟の皆様、チームの皆様には、たくさんのお協力、御支援などありがとうございました。また、快くメンバーを送り出していただいた家族の皆様ありがとうございました。



第三十周年  
八重山家庭婦人バレーボール結成記念大会  
平成二十三年三月二十七日(日)  
石垣市総合体育館

結成記念大会には、  
カルフルなユニフォーム姿で十二チームが参加、西表からは、一チームが参加し、にぎわいのある試合でした。

石垣島トライアスロン大会の  
清掃ボランティア(場所 マンタ公園)

平成二十三年四月十日(日)

ボランティア協力者(三十一名)

- あやばにクラブ
    - ★辻野ヒロ子
    - ★古見栄子
  - Good very
    - ★東恩納さよ子
    - ★砂川玲子
  - サザンクラブ
    - ★新里いづみ
    - ★垣本美智子
  - マリソッククラブ
    - ★福留玲子
    - ★黒島麻代
  - コスモクラブ
    - ★平良千恵美
    - ★前泊梨香
  - ふたばクラブ
    - ★比嘉清美
    - ★本村久美子
    - ★上江洲仁美
    - ★中山真理子
  - オーシャンクラブ
    - ★灰塚美枝子
    - ★仲宗根美佳
    - ★與座佐登子
    - ★高橋朋美
  - なかよしクラブ
    - ★田盛吉美
    - ★森田通江
    - ★松田茜
    - ★砂川英子
    - ★宮本かおり
  - フレッシュクラブ
    - ★小浜ヤス子
    - ★山内みずみ
    - ★渡久山ゆかり
    - ★宮里梨香
    - ★前仲綾子
    - ★新垣香織
  - 白保クラブ 山城ゆかり
- 各チームのお子様たち 十四名  
毎年ボランティアの参加  
ありがとうございます。



とてもきれいになりました。



第六回 恵山会杯バレーボール大会  
平成二十三年五月二十九日(日)  
石垣市総合体育館

★一般女子の部

- 優勝 丸高商事
- 殊勲賞 津波舞
- 準優勝 はあと
- 技能賞 鳩山佳奈枝
- 三位 Happy
- 敢闘賞 亀井静香



★家庭婦人の部

- 優勝 Good very
- 殊勲賞 糸洲千草
- 準優勝 なかよしクラブ
- 技能賞 吳屋喜美子
- 三位 ふたばクラブ
- 敢闘賞 今野裕子



第二十五回 八重山家庭婦人  
バレーボールシニア大会  
平成二十三年六月十二日(日)  
白保中学校体育館



- 優勝 Good very
- 準優勝 なかよしクラブ
- 三位 オーシャンクラブ

- アタック No.1賞古賀 香
- ナイスレシーブ賞砂川英子
- スパーエース賞石原いくよ
- ナイスサーブ賞仲里安子
- シニア特別賞上江洲仁美





オリオンビアフェスタの販売協力  
 平成二十三年七月九日(土)  
 毎年恒例のボランティア活動、午後  
 四時から九時までご協力下さったママ  
 さんの皆様おつかれ様でした。



★ボランティア活動な  
 どに参加し社会貢献  
 をしていきましょう。



★ファミリー賞  
 ふたばクラブ



三位  
 コスモクラブ  
 敢闘賞  
 金城智子

技能賞  
 古賀香



準優勝  
 Go  
 oed  
 ry



殊勲賞  
 新盛梢



優勝  
 Happy

オリオンビールママさんバレーボール大会  
 平成二十三年七月三十一日(日)



1試合の結果

1セット	Happy	15	対	和白東	21
2セット	Happy	21	対	和白東	17
3セット	Happy	20	対	和白東	22

初出場、Happyの選手の  
 皆さん大変お疲れ様でした。

ナリスカップ第三十七回 九州ママさん  
 バレーボール優勝大会(福岡県)  
 十一月十八日~十九日



一部 優勝

1試合	西原東蘭	(21:11)	(21:7)
2試合	普天間クラブ	(21:15)	(21:19)
3試合	ターゲッ	(21:3)	(21:10)
4試合	勝連さわやか	(21:9)	(21:17)
5試合	与那原クラブ	(18:21)	(23:21)(21:9)

第三十七回 九州ママさん  
 バレーボール優勝大会沖縄県予選会  
 平成二十三年九月三日(土)~四日(日)  
 沖縄市体育館



# 絆

発行  
八重山ママさん  
バレーボール連盟  
広報部  
— 第23号 —



会長 辻野 ヒロ子

野山にテッポウユリやグラジオラスの花が咲き誇り新年度がスタート致しました。入学式、進級と可愛い子ども達が胸をワクワクさせて輝いている姿に健やかな成長を祈って、側で目を細めて見守っている両親、祖父母の様子が印象的なこの頃です。今年度は、本土復帰四十周年の節目に当たり「新石垣空港」も来年三月には、開港予定で。私達の住む大好きな八重山も、これから益々発展するものと確信しております。

さて、当連盟も全国、県に合わせて名称を「家庭婦人バレー」から「ママさんバレー」に変更することになりました。また、今年度から新しく前木組チームの加盟も心より歓迎し十二チームとなり、お互いの益々の「絆」を大切にしたいと思います。今年度も大好きなバレーボールを楽しみながらリフレッシュし、明るい家庭づくりに頑張ります。会員の皆さんのご健康とご活躍を祈念し、当連盟へのご支援とご協力をお願い申し上げます。

ナリスカップ第三十七回九州ママさんバレーボール優勝大会に参加して

Happy 宮城和美

平成二十三年九月三日(土)、四日(日)に沖縄市体育館で行われた沖銀カトリアカップ九州ママさんバレーボール優勝大会にて優勝し、十一月十八日(金)、十九日(土)に福岡市民体育館にて行われた、ナリスカップ第三十七回九州ママさんバレーボール優勝大会に参加できたことを大変嬉しく思います。

県大会で優勝するまで、県での大会は、かなりの惨敗や、悔しい思いをしてきました。二十三年度全国大会参加を目指し、五月の予選大会に参加しましたが、ベスト8のときに再度挑戦したいという思いが起り、九州大会に挑戦しました。このときのチームは、一般チームや、OBチームまた、ママさんチームの皆様にも打ち合い相手になっていただき、緊張のこのチーム練習をやってきました。これまでとは、違う意見のぶつかり合いや、今までは無いヒリヒリとした雰囲気、チーム結成以来、誰もが初めて味わう練習となりました。

その結果、県大会で優勝し、ナリスカップに参加させていただけました。福岡では、出発から、乗る飛行機の欠航などがあり、ハラハラドキドキの石垣空港出発でしたが、何とか那覇野田空港経由で福岡に到着したメンバーと応援団でした。試合前に「福岡これてよかったよ」「開会式間に合って良かったよ」という、安堵した気持ちから大会前からうっすら涙を浮かべた場面もあるほどの大会参加となりました。対戦相手は、福岡の和白東との初戦、県の宮城理事長から、福岡はチーム数も多いからなるべくあたりたくないね事というチームと対戦することになりました。緊張からかサブブカットやチ

ヤンスなどが生かせず落とし、二セット目取り返すがリードが守りきれず、一対二で惜しくも負けてしまいました。優勝チームは、六対三の攻撃のチームがあり、速さ、守備はしっかり一人ひとりの役割りをこなしていました。チーム力を高め、一人ひとりの役割りを確認することを課題にして、次の大会に向けたと思います。福岡市民体育館では、少ない応援団の中に、県の役員の方が大きな声援での応援を頂きました。

初めての大会参加の私達にとっては、心強く感じ、また、メンバーが足がつつたときに、宮城理事長がベンチに来て手当てをしていただきました。あふたしてなにもできない私達にとっては、本当に感謝の気持ち一杯です。今回、参加にあたり県大会に参加することと違い、県外の大会に参加するということや、ひとりの精神的力バパーなど、これまでとは違うことを勉強させていただきました。

また、家庭の協力のありがたさに気づかされた大会もありました。週二回の練習に、ミーティングなど大会参加にあたり、メンバー一人ひとりの家族の皆様のご協力に感謝いたします。ありがたございました。山根清美さんには、一緒に練習や大会に参加していただきとても心強かったです。おそらく、私達だけだと一セットも取れず、緊張のまま終わっていたのではないかと、思われるほど助けられました。細かい心遣いも沢山していただきました。ありがたございました。

辻野会長が二階席に座って応援している姿は、まぶしいくらい輝いていて「大丈夫いつも試合と違ってやっていたらいいよ」という、アドバイスがかなり効いていたように思います。辻野会長、本当にありがたございました。今回の九州大会に私達Happyが参加できたのも八重山ママさんバレーボール連盟の理事長である、古見さんをはじめとする役員の方々、またチームの皆様にも多大なる御協力と御支援をいただいたからでございます。心より感謝いたします。ありがとうございました。これからも、八重山ママさんバレーボール連盟の一員として、頑張りたいと思っております。ご指導宜しくお願いいたします。

第三十一回 年齢別大会  
平成二十三年十二月四日(日)  
白保中学校体育館  
優勝 Happy  
準優勝 なかよしクラブ  
三位 Good Very



ママさん9チーム参加



初デビューのママさん

平成二十三年度  
吉田杯ママさんバレーボール  
大会

平成二十四年二月十九日(日)  
自保中学校体育館



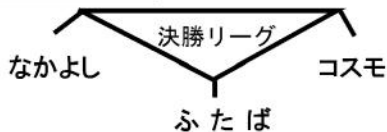
▲新しい  
トロフィー  
です。



おめでとう



優勝  
なかよし



準優勝  
ふたば

平成二十三年度

八重山郡体育協会会長賞表彰式

平成二十四年一月二十一日(土)

石垣市健康福祉センター

体育協会会長賞 Happy



ますますのご活躍を期待しております。

第十回 石垣島マラソン大会

準備作業

平成二十四年一月二十一日(土)



おつかれ様でした。

給水作業

平成二十四年一月二十二日(日)



野口京子さん家族旅行で来島

平成二十四年三月十八日(日)



左から 京子さん、次男、旦那様、長男

第三十一周年結成記念大会

平成二十四年三月二十五日(日)



優勝 Happy





絆  
な

発行  
八重山ママさん  
バレーボール連盟  
広報部  
— 第24号 —



会長 辻野 ヒロ子



真夏の夜空を彩る花火が「ドーン・ドーン」とオリオンビアフェスト会場から大きく上がりました。

「本格的な夏」は「オリオンビールの夏」と言っても過言ではなく、私達にとっても待ちに待った「オリオンビールママさんバレー大会」であります。今年も会社の大きなご支援のもと盛大に開催されることに心からお礼申し上げます。

私達も大好きなバレーボールでさわやかな汗を流した後は、大好きなオリオンビールを愛飲し、この長い夏を乗り切っていくましよう。

結びに、オリオンビール株式会社の益々のご発展をお祈り申し上げます。



## 平成24年度 定期総会



1 辻野会長の挨拶から始まり、平成二十四年度定期総会を滞りなく終わることができました。

2 役員と各チームの皆さんです。

日時 平成二十四年四月十四日(土)  
石垣市総合体育館研修室

## 平成二十四年度 事業計画



第七回  
恵山会杯バレーボール大会  
(主催)六月二十四日  
総合体育館

第二十八回  
オリオンビールママさん  
バレーボール大会  
(協力)七月二十二日  
総合体育館

第二十六回  
八重山ママさんバレー  
ボールシニア大会  
(主催)八月五日  
白保中学校

第三十二回  
八重山ママさんバレー  
ボール年齢別大会  
(主催)十月二十八日

平成二十四年度  
吉田杯ママさん  
バレーボール大会  
(主催)二月三日

第三十二周年  
八重山ママさんバレー  
ボール連盟結成記念大会  
(主催)三月二十四日

1 会員33名と、かわゆいちびっ子達11名の参加でした。ご協力ありがとうございました。



2 西表島からパンタリーズのメンバーが参加しました。

1 初参加の前木クラブ



トライアスロン大会清掃ボランティア  
四月十五日(日)  
登野城漁港(マンタ公園)

審判講習会

平成二十四年六月八日(日)  
白保中学校体育館



県連盟審判部

島袋ゆみ子さん  
平良清美さん



審判講習会終了後、  
白保にて懇親会を  
しました。



美女三人  
OKよ



講習会を真剣  
に習得している  
マさん達です。



スコアシート  
の記入について  
前木さんが、無  
人さんが、強  
夢中でした。て  
いまして。

ママさんの部  
優勝 コスモクラス

準優勝  
三人の部  
殊勲賞  
技能賞  
敢闘賞  
金本 真沙乃  
宮城 美奈子  
船越 美奈子  
なかよしクラブ  
Happy



準優勝  
三人の部  
殊勲賞  
技能賞  
敢闘賞  
丸高商事  
下地脳神経外科  
内原 真理子  
前花 ちなつ  
東内原 真子



一般の部  
優勝 はあと

第七回 恵山会杯バレーボール大会  
平成二十四年六月二十四日



オリオンビアフェスト  
七月十四日(土)  
撮影後、暑い中 美味しいオリオン  
ビールを笑顔で販売するママさんの  
皆さんです。

いそじ大会沖縄県予選会に参加して

理事長 古見 栄子

去った七月八日、西原町民体育館で開催された「第二十四回全国家庭婦人バレーボールいそじ大会沖縄県予選会」に、八重山から「なかよしクラブ」「白保クラブ」の二チームが出場しました。

いそじ大会は、今年四月一日で満五十歳に達していないと出られないという大会で、なかなか県大会に出場する機会がなくなりました。おばさん達も参加できる唯一の大会です。

そこで、めでたく五十歳を過ぎ、八重山でけっこう頑張っているおばさん達が二つに分かれてチームを結成しました。しかし、それぞれ所属しているチームの練習もあり、その結果、いそじメンバーが揃っての練習ができなかったという反省を胸の片隅において大会に臨みました。

参加チームは十五チームで、開会式の前に体育館内で代表者会議が行われました。白保は「うちが引いたら必ずなかよしと当たるさ」という東内原とも子さんの代理として知念やすよさんが引きました。「なかよしと当たらないければいいでしょう」と笑って言うやすよさんに「そう、八重山同士が当たったら困るよ」と言いましたが、何と一番クジを引いてしまいました(山根さんの予想が当たってしまった)。やすよさんのおかげで？白保は「選手宣誓」という大役を引き受けることになりましたが、小さい

体で元気印のとも子さんが、八重山をアピールする元気いっばいの選手宣誓を行いました。さすが！我が副会長とも子さん：誇らしかったです。

さて、開会式が終わってすぐになかよしとパルコム(宮古島市)の試合が行われました。しかし、公式練習の際、Tさんのハーフパンに白い線が入っていることを審判に注意されました。ハーフパンを2枚持ってきていた素子さんから借りて試合開始となりましたが、このドタバタに私は血の気が引きました。なぜかという、那覇に出發する前、砂川玲子さんから「線が入っているハーフパンでもないのか？」と聞かれ、黒色だから大丈夫じゃないと言ったことを思い出したからです。白保メンバーの内四名が線の入ったハーフパンと分かって慌てましたが、幸い私たちの試合は四試合目だったので買いに行くことができました。初めてのいそじ大会で、しかもずいぶん久しぶりに県大会に出場することに浮き足だっていたのか：県連盟の仲樹競技委員長とはいろいろやり取りしていたのに、なぜそれを確認しなかったのか：と私は心から反省しました。(※今大会は反省することが多く、改めて県連盟の厳しさを実感しました。)

なかよしとパルコムの試合は、①15:21、②22:20、③15:21の大接戦でした。どちらも県役員が優勝候補に挙げたほど強いチームで、手に汗にぎる試合を展開してくれました。いそじ大会はトーナメント戦なので、決勝まで残るには「体力勝負だよ」と聞いていました。まさにそうでした。どのチームも拾ってつなぐプレーの連続で、ラリーが長く続き、体育館内の暑さも重なるので、試合が終わる頃にはもうヘトヘト状態でした。

白保は四試合目に豊見城団地クラブと対戦しましたが、①16:21、②14:21で負けてしまいました。相手チームとの実力的な差はあまりなかったと思うが、結果的に一セットも取れなかったことは残念でした。

いろいろハプニングがあったいそじ大会、立っているだけで汗ばむ体育館で、おばさん達の熱き戦いの一日が終わりました。優勝は「さわやか」(浦添市)、準優勝は「豊見城団地クラブ」(豊見城市)でした。両チームとも、沖縄県代表として「全国大会」「九州大会」で活躍されることでしょう。

大会に参加させて頂き、改めて思ったことは、体力+技+チームワークが勝敗を決めるということです。どうすれば一点が取れるのか？チームに対して自分ができるとは何か？今回の参加で多くのことを学ぶことができたので、来年もまた挑戦したいと考えています。

また、今回の大会には心強い仲間が応援に駆けつけてくださいました。古賀香さん、竹内千夏さん、諸喜田直美さんと旦那様(シヨッキ)、新本菊代さん、内原こずえさん、宮城和美さん、東内原とも子さんの旦那様と次女、玲子さんの友人、さよ子さんの次女夫婦、大島さんのお姉様など多くの方々のご声援に後押しされて頑張ることができました。本当にありがとうございます。

